



七つの郷

学校便り 1月号
令和7年12月19日
呉市立三坂地小学校

〈広地区クリーン活動～ご協力ありがとうございました！～〉

12月3日（水）に「広地区クリーン活動」を行いました。小学生は中学生と地域の方とともに、担当する場所の清掃活動をしました。落ち葉拾いや草抜きなどに取り組み、地域の方から温かい声をかけていただく場面もありました。中学生からは作業の仕方を教えてもらうなど、学年を越えた交流も見られました。活動後には「地域がきれいになってうれしい」「また一緒に活動したい」という感想も聞かれ、子供達にとって貴重な学びの機会となりました。地域・保護者の皆様、今年もありがとうございました。



〈三坂地保育所・くくな保育園交流会〉

12月9日（火）に幼保小連携の取組の1つとして、三坂地保育所とくくな保育園の年長児のみなさんと1年生が交流会を行いました。1年生は、自分達で作ったおもちゃやゲームを準備し、みんなが楽しめるようにやさしく声をかけながらもてなす姿がとても頼もしく見えました。年長児のみなさんも笑顔いっぱい活動に参加し、教室はあたたかな雰囲気になっていました。短い時間ではありましたが、互いに触れ合い、楽しいひと時を過ごすことができました。ご参加いただいた保育所・保育園の皆様、心よりお礼申し上げます。



〈午前・午後・正午～年越しも近いので十二支に関する算数の話～〉

小学校では、1年生で時刻（時、分）をよむ学習を行い、2年生で時刻の単位を適切に用いることができるようにします。午前・午後・正午も2年生で学習します。

午前・午後・正午の読み方は、現在の太陽暦の時刻の読み方ではなく、十二支による時刻の読み方に由来したものです。十二支による時刻は、子（ね）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う）、辰（たつ）、巳（み）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い）と2時間ごとの単位で時を刻みます。ただし、「子」の刻から順に2時間ずつ刻むのではなく、午前0時を子の刻の中心とします（下の図）



上の図にあてはまる時間を「子、丑、寅…」の刻と読んでいきます。午後0時は「午」の刻の真ん中にくるので、正（まさ）に午の刻、「正午」となるのです。他にも「おやつ」や怖い昔話に出てくる「草木も眠る丑三つ時」も昔の読み方と関係しているんですよ。

